

## Report

# 能登半島派遣報告

### 会場

## 輪島商工会議所

### 応援経営支援員

#### 支援グループ

### 日比野 康範



2025年9月8日～12日、輪島商工会議所仮設事務所において罹災事業者からの補助金申請の受付と交付申請手続きのサポートの対応をしました。

私は昨年12月にも「能登事業者支援センター」で能登地域全域からの罹災事業者の方の補助金申請等の経営相談に対応しました。その際、地元老舗酒蔵の若い蔵元の復旧の努力と復興の計画に感銘を受け、今回も復興に熱く取り組む事業者さんにお会いできるのを楽しみに輪島へと向かいました。

約9ヶ月ぶりの輪島の市内は、全壊・半壊の家屋等の公費解体が進み、整然とした印象の中で空き地には雑草が茂り寂しい印象は拭えませんでした。

今回、私がお会いした中で、心に深く残ったのは、あるお茶店の事業者さんです。

派遣2日目に自ら作成した補助金申請書の確認でおいでになり我々のアドバイスに感謝され帰られ、翌日お店を訪れるととても喜んでいただけました。派遣最終日に申請書類一式が完成したとのことで来所された際には「名刺も作ったよ、頑張るよ」と仰っていただくことができました。

輪島市をはじめ石川県は藩政時代から茶道文化の盛んな地域。御主人は定年まで富山県内で単身赴任勤務し、帰郷して実父の創業したお茶店を引き継いだばかりの時に地震罹災された。今回の自宅兼店舗の復旧を梃に事業を再建していく志を熱く語っておられたのが印象的でした。このような事業者さんがいれば輪島は、能登は必ず力強く復興すると確信しました。

本稿をお読みの会員事業者の皆様、輪島市を訪れる機会があったら「道の駅 輪島」を港に向かっていく通り沿いにあるこのお茶店を訪ねてあげてください。